

## 平成湯来踊り



「平成湯来踊り」は、国の「ふるさと創生事業」で湯来の町おこしのために作られたそうです。「石本美由起作詞 岡千秋作曲 中村美律子歌」と日本でも有名な方々による素敵な歌に、有名な「深山観史朗振付」の素敵な踊りです。

作詞家の石本さんは、大竹市出身で「この曲の作詞をするために、わざわざ東京から何度も湯来町を訪れ、湯来町の景色を見たり、話を聞いたり、温泉にも入り作詞

された」と先日、杉並台幼稚園の深田園長先生より教えていただきました。

本校では、平成 19 年度から毎年運動会でこの「平成湯来踊り」を踊っています。今年は、3 年生と 4 年生が踊ります。女性会や保存会の方々が、熱心に指導に来てくださっています。

私も、練習に参加し踊ってみるのですがなかなか難しく覚えられません。しかし、保存会の方が「山を見て 湯けむりに蓋をして じゃぶじゃぶ・・・」と振りの意味を教えてください、なんとか子どもたちについていくことができました。

4 年生の子どもの中には、指先から足のつま先まで意識して華麗に踊る子がいます。そんな子どものしなやかで優雅に踊る姿を観ているとほれぼれとしてきます。私も、あんな風に踊りたいなと思い、これからも練習に励もうと思います。3 年生の子どもたちも、4 年生を見習いながら 1 回目より 2 回目と女性会の方々から褒められるほど上手になっています。家でも練習している子どももたくさんいると担任から聞いています。運動会当日には、気合いの入った本番の踊りが見られると思うと今からとても楽しみです。

「平成湯来踊り」は、この湯来町に住む子どもとして踊り続け、次の世代にもつなげていく伝統としたいと思います。

運動会のプログラム 11 番に「平成湯来踊り」があります。初めは、3・4 年生が踊ります。練習の成果を観てください。その後、1・2 年生が中側に輪を作り、5・6 年生が外側に輪を作り全校で踊ります。女性会の会長様が、放送で呼び掛けられますので、保護者皆様も奮ってご参加ください。

ぜひ、皆で一緒に踊りましょう。



平成湯来踊り

(囃)

湯来はよいよい

なにがよい

四季の眺めと

お湯がよい

一、山の杉さえ

みどりの化粧

誰に似たのか

おしゃれ好き

身振り上手な

湯来の娘は

踊る姿が

花になる

(囃)

湯来は湯の里

湯に湯が湧いて

人も踊れば

湯も踊る

音頭うきうき

うきうき

湯来踊り